

# 1. 調査報告概要表

## [認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成20年9月17日

### 【評価実施概要】

事業所番号	2770103782
法人名	社会福祉法人 関西福祉会
事業所名	陵東館秀光苑
所在地	堺市北区長曾根町1199-6 (電話) 072-252-6000
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 8月 27日

### 【情報提供票より】(平成 20年 8月 1日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 5月 1日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤 7人, 非常勤 8人, 常勤換算	13.8人

#### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	6階建ての	2階 ~	6階部分

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000~60,000円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		

#### (4) 利用者の概要 (平成 20年 8月 1日現在)

利用者人数	18名	男性 8名	女性 10名
要介護1	3名	要介護2	6名
要介護3	6名	要介護4	2名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 85.2歳	最低 64歳	最高 99歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	植木病院、八百歯科医院
---------	-------------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域で生まれ育った前理事長は、自らの介護経験から、地域に根ざした施設を目指し昭和58年に特別養護老人ホームを開設しました。その後、障害者施設や保育園、認知症対応型グループホーム等を開設しました。現在もその理念を受け継ぎ、今日まで地域に貢献してきました。建物の2~6階部分にあるグループホームは、階上から堺市を一望できます。ホームは、6名ずつの3ユニットで、男性が半数を占めています。離職が少なく、管理者や中心となる職員の意識が高く、向上心もあり個別対応が決め細やかに行われています。利用者一人ひとりを大切に、「共に生活をする」視点を持ち、意図的に働きかけを行いながら、利用者がもつ力を引き出し、主人公になれる場面を作り出しています。利用者の笑顔や会話から、日常生活を豊かに過ごしていることが伝わります。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回評価での改善課題はなく、外部評価の基準を全て満たしています。さらに目指すべき目標として評価内容に取り組み、記録やマニュアルだけでなく実践へ繋がっていることを高く評価します。今後、記録物の整理が期待されます。前回、助言とした項目について①災害時の備蓄②ケース記録等の確認印③水分量のチェック方法なども、今回の評価で、改善されていることを確認しました。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者は、外部評価を職員と共に検討し質の向上と位置づけて、自己評価を行っています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月に1回開催しています。会の運営は、家族や地域の参加に重点を置いてそれぞれから意見を出してもらえるような会議になるように努めています。利用者の日常生活が伝わるよう、ビデオやスライドなど映像で様子を伝え、要望や意見が出やすいように工夫しています。また、出された意見は、職員会議で検討し業務に反映しています。今後、地域行事への参加だけでなく、地域の中でのホームの役割も検討しており、自治会や老人会との積極的な交流により期待されるそうです。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 定期的に便りを発行し、利用者の生活状況や行事の報告をしています。家族の来訪は多く、利用者の状況を説明し、話し合いの場を設けています。金銭管理は、個別の出納帳を作成し領収書と共に家族に送付しています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会や近隣小学校との交流を行い、納涼祭やもちつきなど地域行事に積極的に参加しています。日常的にも地域の喫茶店やスーパーに買い物に出かけています。また、地域の農園を借り、野菜づくりも地域住民との交流となっています。運営推進会議も定例化し、さらにホームが地域で必要とされる活動や役割を検討しています。

## 2. 調査報告書

(        部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	初代理事長の「地域の人たち一人ひとりが幸せな暮らしができるように」との思いが今に引き継がれ「地域の中で共に支えあい、共に歩む」を理念として掲げています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、職員会議や学習会で常に確認しています。職員は、理念を分かりやすく標語にし、書道の得意な利用者が写字し、ホーム内に掲示しています。職員各自の意識も高く、職員・利用者がお互いを認めながら共に支えあう生活を実現しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	自治会、小中学校との交流を行い、納涼祭やもちつきなどの行事や地域の清掃活動にも参加しています。地域の喫茶店でゆっくりとコーヒータムや、スーパーにも買い物に出かけています。運営推進会議も定例化し、さらにホームとして地域で必要とされる活動や役割を検討しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各フロアで評価項目に沿って自己評価し、結果を全員で確認しています。全ての評価基準を満たしており、さらに高い目標に向けて毎年の評価結果を振りかえり、日々の取り組みに生かしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、規定を定め2ヶ月に1回開催し記録に残しています。会議の運営は、家族や地域の参加に重点を置いてそれぞれ意見を出し合えるような会議になるように努めています。家族や地域の人に利用者の様子が伝わるよう、ビデオやスライドなどを使用し工夫しています。利用者や家族、地域から出された意見は、職員会議で検討し業務に反映しています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者や北保健福祉総合センターと研修会やケース相談など適宜連携し、サービスの質向上に取り組んでいます。法人が地域包括支援センターの委託を受けており、日常的にも交流を図りやすい環境です。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「秀光苑だより」を随時発行し、利用者の暮らしぶりや行事の報告をしています。写真中心の便りは、利用者の表情やホームの取り組みが伝わりやすく、家族に安心を与えるために工夫をしていることが伝わります。金銭管理は、個別の出納帳を作成し詳細に記録し、定期的に家族の確認を得ています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問も多く、来訪時に要望や意見を聞くようにしています。また、面会簿を作成し利用者の交流関係を把握しています。家族会もあり茶話会を催し意見を出しやすい雰囲気作りに留意しています。日々の職員の笑顔や家族への対応が、「話しやすい」関係に繋がっています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職が少なく、利用者や家族と馴染みの関係が構築されています。管理者は、小ユニットのために、各ユニットの職員配置や利用者同士の交流を積極的に行い、全ての職員が、一人ひとりの利用者を把握できるように工夫しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	常勤・非常勤を問わず法人としての研修体制が整っています。外部研修への積極的参加や毎月の学習会など内部研修も充実しています。研修内容は、認知症、感染症対策、緊急時の対応や採用時研修が含まれています。また、研修参加者は、記録に残し伝達講習や資料閲覧ができるようにしています。自己研鑽を促すために、介護雑誌など書籍の貸し出しもしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	「大阪認知症高齢者グループホーム協議会」に加入すると共に、堺市北区のグループホーム会を発足し、情報交換、学習会などを毎月実施しています。今後はさらに職員間交流や地域支援の取り組みを予定しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の見学や家庭訪問、体験入居も可能で、法人内のデイサービス利用を経て、グループホームに入居する利用者もいます。家族の理由により急に入居した利用者がいましたが、職員が寄り添うことで安定してホームで生活しています。入居後も外出時に自宅へ寄り、必要なものを取りに行く等の支援も行い、利用者に安心してもらっています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	利用者は、人生の先輩であるという考えを職員同士が共有しています。日常生活の中で、料理や生活の知恵を職員が教えてもらう場面があります。一人ひとりの言葉を大切に聞き取り、共に楽しみ喜び合う関係を築いています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者とふれあう中で、会話や表情、仕草から利用者の意向や思いを汲み取る努力をしています。職員同士情報を共有し、思いに寄り添うよう支援しています。なかなか訪問できない家族には、写真と共に手紙を添えて利用者の様子を伝えています。来客があると不穏状態になる利用者がいましたが、利用者の思いを汲み取り、ゆっくり丁寧に対応している場面がみられました。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意見、職員が日常生活の関わりから得た情報をもとに介護計画書を作成しています。情報は、職員間で共有しています。ケアカンファレンスを必要に応じて実施し、計画に沿って記録しています。また日常のケアに繋がっています。介護計画書は、家族等への説明を行い、同意の署名をもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、6ヶ月ごとの定期的な見直しと状態の変化や要望に応じて見直しています。アセスメント表、モニタリング記録、カンファレンス記録もきちんと記入されています。今後は、個別ファイル等、記録の整理方法を検討されてはいかがでしょうか。記録物は、できるだけ重複を避け、情報等も整理し、個別ファイルを見れば利用者の生活歴や現在の状況が分かるようにすると、家族への記録を開示する場合も分かりやすいのではないのでしょうか。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者・家族の希望に応じて、通院の支援をしています。また、外出時に自宅を訪問し、自宅の風通しや必要な荷物を取りに行くなど柔軟な対応をしています。習字の好きな方は、法人内の習字教室に参加するなどの支援もしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望する医療機関で引き続き医療が受けられるようにしています。また管理者が看護師であり、日常の利用者の健康管理や緊急時の受診判断を行い、医療機関に繋いでいます。また、歯科訪問診療を定期的に利用しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期の看取りを含めた指針を作成しています。指針には、具体的な対応方法なども書かれています。今まで、ホーム内で看取った利用者はいませんが、利用者家族の希望により、亡くなる直前までホームで過ごした利用者がいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護の規定や雇用契約書に職員の秘密保持を義務付けています。日常の関わりでは、言葉かけや対応など一人ひとりへの配慮が見られます。具体的な言葉かけの方法などもマニュアルに盛り込まれています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴・食事時間など、利用者一人ひとりのペースを尊重した自由な暮らしを支援しています。外出や習い事も希望を聞きスケジュールを立てていますが、その日の体調や気分に合わせて対応しています。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝・昼食は、特養から届いたものを利用者・職員で盛り付けしています。夕食は届いた食材を工夫し、利用者の好みに合わせてアレンジをしています。「刻み食」などは、先に元の食事を視覚で楽しんでもらい、刻むなど工夫しています。テーブル拭き、食器の片付け、芋の皮むき、調理など利用者が自然に自主的に関わっています。食事中、会話が弾み笑いのある楽しい雰囲気が醸し出されています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間は、利用者一人ひとりの希望に合わせて対応しています。何度か声かけを行い、利用者が入りたいという気持ちになった時に職員が合わせています。週末には入浴剤を入れ、また違う気分を味わってもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	生活歴から得意なこと趣味など聞き取り、草花の水遣り、青果市場に勤めていた利用者は果物や野菜の見立て、書道の得意な利用者は献立書きなど、それぞれが役割を持ち生活しています。半数が男性の利用者ですが、食事作りの過程でも盛り付けや片付けを担当しています。特養の行事の大正琴コンサートや歌謡ショーなどの楽しみもいろいろあります。絵画の得意な利用者は、自身の部屋をアトリエにして作品を描いていました。最近、描くことは難しくなりましたが、今までの作品をホーム内に展示し季節ごとに変えています。月1回の3ユニット合同の食事会では、利用者も企画から参加しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーへの買い物、外食、近隣の喫茶店など、さまざまな外出記録があります。利用者は月1回の同法人の習字教室に通ったり、弁当を持参し戸外で昼食をすることもありません。個別の外出支援も行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	戸外へ通じる総合玄関は、地域包括支援センターや特養と共用です。建物内にあるホームの玄関やエレベーターは、鍵をかけていません。利用者は一人でエレベーターに乗り他のユニットに出かけています。身体拘束についてのマニュアルや新聞の切抜きなど、日ごろから職員の意識も高く自由な暮らしを支援しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年2回の消防避難訓練を夜間出火も想定して行っています。6階建ての建物ということで、消防署の協力を得て避難経路の確認も行いました。運営推進会議の中で、地域への働きかけも行っています。また非常用食料品と水の備蓄もあります。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同法人に所属する管理栄養士が献立を作成し栄養管理を行っています。食事、水分摂取量は、一日を通して把握し記録に残しています。鯖アレルギーの方は、他の魚に変えるなど、メニューは個人の状態や好みに合わせて配慮しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	6階の建物の各フロア（食堂兼居間と居室）を上手に工夫しています。上階からは、堺市の町が見渡せ、夏は花火も楽しむことができます。セミパブリックスペースに、ソファがあり、自由にくつろぐ場所を設けています。植木鉢や花が活けてあり、季節感を感じられる空間でした。話し声や食器の音など、意識的に五感を刺激する取り組みがされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、電動ベッド、木製のクローゼット、机、洗面台、手摺が備え付けられています。馴染みの家具、家族の写真、タンス、衣装ケース、鉢植え、テレビなど可能な限り自由に持参できます。居室床は、フローリングですが、希望で畳、カーペットに変える事も可能です。		